



延喜式内名神大社

# 生島足島神社便り

## 第 62 号



ごあいさつ／境内環境整備（注連縄の架け替え） ..... 2

正中について／境内環境整備（遊歩道整備／御歳田・手水所・山宮整備） ..... 3

夏詣で ..... 4

12月～4月までの祭事・行事予定 ..... 6

年末年始のご案内 ..... 7

縁起物のご案内／新年福ダルマ授与について／お知らせ ..... 8



QR コード  
携帯電話、スマホにて簡単に  
ホームページにアクセスできます。



QR コード  
「参拝の作法と参拝順序」  
まいぶれ上田・東御にアクセスできます。

# ごあいさつ



宮司  
山崎洋文

生島足島神社に心を寄せていただいている皆様、いつもありがとうございます。十一月一日に、宮司を拝命いたしました山崎洋文と申します。よろしくお願ひ致します。

わたしは、ここより乾（最高の吉方）の方、修那羅峠を超えた筑北（旧本城村）の地から参りました。本城で生まれ育ち、國學院で学び、村の氏神様である白山神社ほか三社と坂北の刈谷澤神明宮や麻績の神明宮の宮司を務めています。少し前に長野県神社庁松塩筑支部長を仰せつかり、現在は、神社庁の理事で、庁報「神洲」の編集長をしております。また神社庁の教化講師を二十年余勤め、教養研修や、総代大会でお話しをする機会があり、初任や中堅の神職の方々に授業をさせていただいている関



館長でした。

就任に際しては、村や松塩筑や南安の方からねぎらいと励ましのお言葉をいただき、また、こちらの総代・神職・職員、上小の方から歓迎をいただき感謝しております。

今は、雲の上に見える山の頂に登ろうとする青年の心持ちであります。どうぞご厚誼のほど重ねてよろしくお願ひ致します。

係で、県内の多くの神職さんや総代さんたちと仲良しです。村においては、長きにわたり公民館・資料館・文化財の仕事をしていただき、村史を編集し、十月までは筑北村図書



巫女  
清水彩加

はじめまして、この度中途採用として入社しました清水彩加です。

神社の皆さんの一員として、働けることを心から嬉しく思います。

これまでの経験を活かし、地域の皆さんや参拝者の皆さんに寄り添った奉仕を提供できるように努力して参ります。

また、神社の伝統や文化など沢山のことを学ばせて頂き、少しでも貢献できるような努めますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

まだ不慣れな点も多いかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。皆さんと働けることを楽しみにしております。



# 境内環境整備



祭典部長 土屋 秀幸



管理部長 島田 信夫

神社境内の環境整備について、改善場所の改修・整備を随時行っていますので一部についてご紹介いたします。

# 注連縄の架け替え

引き続き注連縄タスクチームにより注連縄の架け替えを行いました。御旅所・山宮・子安社等計六社の注連縄が新しくなりました。





# 正中について (せいちゆう)



禰宜  
池内宣裕

正中というと、世間では武道の中心軸のことや妊婦さんの体の真ん中に現れる正中線のことを思われる方が多いと思いますが、神社には古くから敬意を表す対象の正中という考えがあります。境内社殿奥に鎮まります神座から外に向かつて真ん中の線上に位置するところとされています。

神社本庁の広報からも、「参拝作法ー参道について」の中で次のように説明されています。

参道とは、境内の鳥居から社殿へと向かうまでの道のことをいいます。私たちは参拝の際、鳥居をくぐり、この参道を歩き、社殿へ向かい、お参りします。参道では、道の中央(真ん中)を避けて歩くといった作法をされる方がいらつしやいます。

これは、参道の中央(真ん中)を「神さまが通る道」、正中(せいちゆう)と捉えるためです。

この正中を避ける作法は、神職が祭祀を行う際に用いる正中作法にならつて敬意を表す歩き方として知られています。

また、参道の中央を横切らなければ

ならない場合もあります。その際には、軽く頭を下げながら通ったり、中央(真ん中)で御神前に向き直つて一揖してから横切るという敬意の表し方もあります。

参道の歩き方に厳格なままりはありませんが、神さまへの敬意の表し方としてお役立てください。ただし、作法を意識するあまり、各神社のルールから外れたり、他の参拝者と衝突したりしないようお気を付けください。

最近、巷ではテレビの旅行やクイズバラエティー番組等で「参道の真ん中を歩いてはいけない」「参道は端を歩くもの」等の説明が多くされているようです。大切なのは、神さまへの敬意を表すことと参拝者の方々お互いが気持ちよくお参りができるよう気遣い合えることではないかと思ひます。参道での正中に関して、とかく大勢の方々が関心を持たれる感がありますが、肝心のお参りする御社殿の大前に着くと、参道での考えはいざ知らず我も我もと真ん中に進んで行かれる傾向が何処の神社でもあるようです。当神社は、御存じの石橋(参橋)を渡られた神池内神島

のスペースが広くありませんので、二年参り・正月初詣にはすぐ渋滞、行列となります。毎年、担当の総代さんが誘導整理に御苦労されています。どうか参拝者方におかれましては賽銭箱前でも正中の考えを忘れず、左右に拡がり参拝をしていただきたいとお願いいたします。

※私共神職の神社祭式作法では、正中においては進むのは三步まででそれ以上は許されません。神事の中の各所役も正中からは速めに退き避ける向きです。ちなみに天皇陛下だけは正中を五歩お進みになられる別格特別の作法があられます。

神社本庁公式HP  
令和六年七月一日附参考



## 遊歩道整備



神池まわり遊歩道の東南角にスロープを作りまし。車イスの方も神池まわりを一周出来るようになりまし。

## 御歳田・手水所・山宮整備

各所雨が降るとぬかるんでいましたが、石畳・石の階段等の設置を行いました。





権禰宜  
橋詰昌徳

夏詣の一環として、去る八月九日の夕刻より生島足島神社と隣接する長福寺の境内において、神社職員・総代、長福寺関係者、また下之郷育成会の代表の方々と地域おこし協力隊の力添えのもと長野大学の学生にも協力いただいて「きもだめし」を開催しました。

以前から総代さんや地域の方に、「昔は夏になれば肝だめしをやったもんだよ、お墓までの道が怖くてなー。」とか「俺なんか怖すぎて、先輩にずっとしがみついていたわ。」「神社も今よりもっと鬱蒼



としていて怖かったなー。」なんて話を聞かせていただいております。それを教えてくれる方々は、やはりどこか楽しげであ

り遠い過去を昨日のように思い出しながら話してくれます。「子どもの頃の神社の記憶」を話

してくれるその方々は今も神社にすぐく協力してくれる方であり、その気持ちに感化されて今回の実行に至りました。

実施する目的は三つ

① 子どもの教育目的と地域の親睦感の育成

② 神社・お寺(神様・仏様)は身近な存在だと知ってもらうこと

③ 災害時に重要な子ども達と地域のつながりを強くすること

近年、核家族化などで自宅に神棚や仏壇がなかったり、神道・仏教に縁がないという方が多く感じら

れます。その時代の中で過ごす子どもたちに教育の一環として地域で伝えられる活動を試みたいと思いい今回は肝だめしの実行に至りました。

神道、仏教の教えや考えを広めるこの場所に今後も気軽に来てもらいたいといった実行者の目線と、子ども達には与えられたミッションをこなし、無事帰って来れたという達成感と成功体験を元に現代の世に広がるホンモノの危険への擬似訓練になるはず。という思い。

大きい子は小さい子を守ってあげる満足感を感じ、思いやりを養う。小さい子は少し大きい子に對し、尊敬の念を持ち、信頼感を感じ



ている保護者の方々は、戻ってきた子のために温かいもの等を用意して、我が子



の帰りを待つ。

こんな思いを込めて開催することを、長福寺の村越住職とも何度か話し合いを重ねて準備を行いました。

近年やってこなかった行事を新たに始めるのはやはり少し大変でした。怖くなりすぎず、しらせることのない様に準備を進めてきたこの企画。反省・改善点は多々あるものの、結果は大成功と言っているのではないかと思います。当日は、狙い通りの悲鳴が神社とお寺に木霊し、夏休みの想い出になつてくれたと信じています。

工夫を凝らして脅かしてくれた総代さん方に感謝をもって夏の振り返りは完了です。





巫女  
樋口真衣

当社の夏詣は、今年で二回目になります。期間は七月一日から九月二十二日で去年より約一か月長く期間を設けました。皆さんは夏詣を知っていますか？

夏詣とは、初詣から半年の節目に半年の厄落としと無事に感謝し、残る半年のさらなる平穏を願って神社に詣でることです。

去年は限定御朱印と浴衣参拝だけでしたが、今年は限定御朱印・浴衣参拝に加えて夜間参拝・巫女体験・葉月茶会・フォトコンテスト・かみほとナイト・風鈴小道と期間中に様々な企画を行いました。参拝者の皆さんに楽しんでもらえるような企画を神職・職員・総代が一丸となり考え、一生懸命準備しました。

夜間参拝は、地元の保育園・幼稚園のみんなに作ってもらった灯笼や風鈴など境内をライトアップしました。昼間の神社とはまた違う雰囲気でも幻想的でした。

巫女体験は、小学生から高校生の



子どもたちが参加してくれました。巫女の袴姿に着替えて、正式参拝や授与体験など普段あまりできない体験をすることができてよかったです。という声をいただきました。

葉月茶会は、表千家村田先生をはじめお茶会の皆さんに協力してもらい開催しました。

約一五〇人の方がお越しになりました。普段は参拝者の方が入れない神楽殿で行い参拝者の方には、貴重な体験ができたと思います。

夏詣の最終日九月二十二日に神賑祭を斎行しました。歌舞伎舞台と神楽殿が会場となり、東塩田小学校



金管バンド・上小雅楽会・上田高校吹奏楽部「農家のお嫁シンガー」仁藤佳菜さん・上田市消防音楽隊「地域を災害から守る消防団」の演奏が行われ大勢の方に楽しんでもらいました。最後に夏詣期間に行っていたフォトコンテストの授賞式で締めくくりました。



今年、神社のインスタグラムを開設計し、インスタグラムにてフォトコンテストを開催しました。テーマは「生島足島神社・夏」で多くの方が投稿していただきました。皆さんの作品はどれも素敵な作品ばかりです。受賞した作品は神社のインスタグラムで紹介してありますので、ぜひご覧ください。

今年の夏詣は初めての試みで参拝者の方が来ていただけると不安でしたが、想像を超えた人数の参拝者の方にお越しいただき嬉しい気持ちと達成感を感じています。

来年は今年以上に楽しめるような企画を準備しますので楽しみにしてお待ちください。

# 十二月～四月までの祭事・行事予定

月次祭 つきなみさい

(毎月朔日 午前九時) 一月は齋行しない

## 十二月

十三社例祭 じゅうさんしゃれいさい

(十二月二十五日 午前十時)

古神札(神符守札) 焼納式 こしんさい

つ(しんぷしゅきつ) しょうのうしき

(十二月中)

十二月の大祓式(師走の祓) じゅうに

がつのおおはらいしき(しわすのはらえ)

(十二月三十一日 午後二時)

越年除夜祭 えつねんじよさい

(十二月三十一日 引き続き)



## 一月

歳旦祭 さいたんさい

(二月一日 午前九時) 正月元旦

御門祭 みかどまつり

(二月八日 午前八時)

荒魂社例祭 あらみたましゃれいさい

(二月八日 午前九時)

御筒粥卜(占) 神事 おつつがゆうら

ないしんじ

(二月十四日 夜 御籠祭後引き続き)

御筒粥卜(占) 奉告祭及曇目鳴弦並蛙

狩神事 おつつがゆうらなほうこく

さいおよびひきめいげんならびにか

わづがりしんじ

(二月十五日 午後一時) 旧成人の日



## 二月

節分追儺祭 せつぶんついなさい

(二月三日 午後二時)

会員年度表彰 鬼やらい豆撒き

(午後三時頃)

紀元(節) 祭並神位祭 併祈年祭

きげん(せつ) さいならびにしんいさい

あわせてきねんさい

(二月十一日 午前十時)

建国記念の日

天長(節) 祭 てんちよう(せつ) さい

(二月二十三日 午前十時)

天皇誕生日

## 三月

神社総代就任奉告祭並委嘱書交付式

じんじやそうだいしゅうにんほうこく

さいならびにいしよくしよこうふしき

(三月上旬)

秋葉社(講) 例祭 あきはしゃ(こう)

れいさい (三月二十六日 午後四時)



## 四月

御遷神事(諏訪様還座祭) おうつり

しんじ(すわさまかんださい)

(四月十九日 夕闇)

撰社諏訪神社(下宮) 例祭 せつしゃ

すわじんじや(しものみや) れいさい

(四月二十日)

御本社春季祭(上宮) しゅんきさい

(かみのみや)

(四月二十日 右例祭に引き続き)

御柱奉倒祭 おんばしらほうとうさい

(四月二十七日)

昭和祭 しょうわさい

(四月二十九日 午前九時)

昭和の日





# 年末年始のご案内



権禰宜  
友野直樹

もういくつ寝るとお正月♪そんな歌が早くも聞こえてきそうな今日この頃、近年の生島足島神社の年末年始の状況等をお教えいたします。友人知人にもし聞かれたら、教えてあげてください。

近年は十二月末にお参り来られる方も増えてまいりました。新しい歳の御札や御守を求める方もおられます。但し、縁起物などは二年参りからの授与になるものもございます。授与所御祈祷受付等の配置も普段と変更しております。

恒例の福だるま市は歌舞伎舞台にてございます。一月一日より一月十五日までとなり、午後は閉所する場合がございます。



古神符守札納所は歌舞伎舞台前のテントにございます。こちら



いぐるみ等は受け付けておりません。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

二年参りはここ数年比較的空いておりゆつくりお参り出来る傾向にあります。若い方が中心にお参り頂いております。おおよそ午前一時頃までです。三が日は日中大変賑やかになっており、お参りするのに並ぶ恐れがございます。令和六年より三が日は授与所の開所時間を延長しております。二年参り後いったん閉所しますが午前六時より開所致します。時間をずらすことによりスムーズに参拝いただけます。一日、三

日は午前七時から午後八時まで開所しております。官庁御用始は一月六日(月)となります。五日(日)までお休みの方も多いと予想されます。大安は五日(日)十一日(土)となります。十二、十三と続く三連休は大勢の方の参拝が予想されます。一月十五日は御筒粥卜奉告祭並びに蛙狩神事合わせて曇目鳴弦神事となります。新春の当社特殊神事となりますので是非ご参拝ください。

福引もございます。氏子の皆様には予めお配りしております。お忘れなく引き換えてください。当日は福引券を一枚三百円にて販売しております。

で、一番福を得たい方は複数ご購入をご検討ください。友人知人の方お誘いあわせの上でご参拝いただけたらと思います。

厄年や御祈祷は是非生島足島神社暦をご覧頂きましてご確認ください。神道・神社・神様の事柄は全て掲載されております。氏子の皆様には年末にお配りしております。社頭では三百円にて授与しておりますので一年間皆様と一緒に過ごして『開運招福』を授かりたい方は是非手元に一冊おいて見て頂けたらと思います。令和七年も皆様にとりまして良い歳となりますことを心よりお祈り申し上げます。



# 縁起物のご案内



巫女 横山実早紀

長かった夏が終わり、七五三のシーズンを迎えております。華やかな晴れ着に身を包んだお子さんと連日賑わう神社では、お正月に向けた準備を着々と進めています。

さて、来年は巳年ですが、当社にも境内に蛇(アオダイショウ)が住んでおり、屋敷神様として大切にされています。夏の時期は時々木の根元の住処から出てきて境内を散歩しています。もちろん苦手な方や驚かれる方も多いですが、中には「縁起がいい」と写真を撮る方もいらっしゃいます。

蛇は脱皮を繰り返し成長していくため「再生」の象徴とされます。また弁財天の使いとも言われるため「財運」のイメージが定着しています。

当社では毎年正月にその年の干支を用いた縁起物を多くご用意しております。蛇が苦手という方もいると思いますが、実は御守や置物になるとデフォルメされた可愛らしい物も沢山あります。なるべく大勢の方に手に取っていただけるよ

う、そんな可愛い見た目の縁起物を選びました。とぐるを巻いたミニ

二福鈴はまるでソフトクリーム!! 干支みくじはゆるキャラのよう!!

思わずほっこりしてしまう物もありますので、ぜひ蛇が苦手な方でも手に取ってみてください。

去年から授与を始めました干支のレース守は、今回は金運をイメージした黄色でご用意しました。また巳年限定として蛇の絵が描かれた金運守もご用意しております。

なお、干支の授与品は無くなり次第終了となります。

他にも新規授与品として、お子さん向けの交通安全の御守もご用意いたしました。ちりめんふつくらしの車の形で可愛らしく、鞆などにも付けやすくなっております。こちらもぜひ合わせてお受けください。

皆さまのご参拝を、職員一同心よりお待ちしております。



# 新年福ダルマ授与についで

生島足島神社の新年福ダルマは、一般の販売店のダルマと異なり、ご祈祷・お祓いして、御神札・福章と合わせて授与致します。

## 取扱時間

- 元旦〜五日 朝八時 午後五時頃
- 六日〜十五日 朝八時半 午後五時頃

(注意: 終了時間は天候等状況により異なりますので午前中の参拝をお勧めいたします)



# 生島の杜 そば処

生島の杜は、年末の厄払い・年始の厄除け後のひと時を、心からのオモテナシで、ゆっくりお食事ができるよう努めて、皆さんのご来店をお待ちしております。

そば処 生島の杜 03-88-8867



コピー 1月31日まで 無料券

- コピーは無効
- 12月30日~1月8日は使用できません

# 写真室からのお知らせ

写真室では成人式のお写真・振袖レンタルをお受けしております。お早めのご予約をお勧めいたします。また、卒業式の着物・袴のレンタルもご用意しております。節目の記念はぜひ、お写真を残しましょう。



夢うさぎ写真室 03-2201-8627